

サーモ付自動洗面混合栓

.....EK5030型

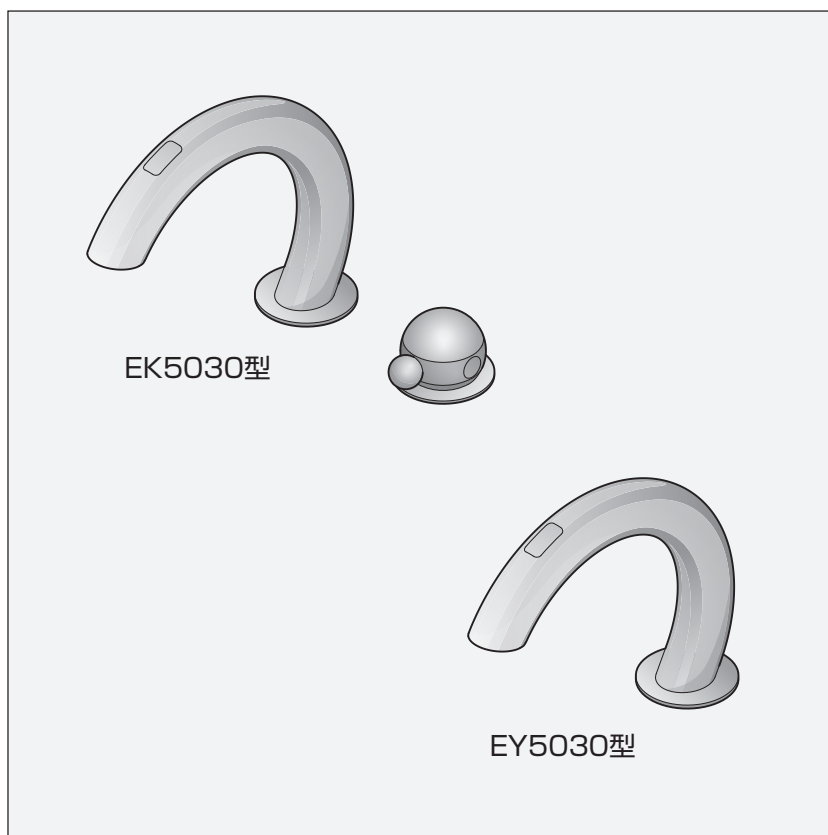
自動水栓

.....EY5030型

※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、取扱説明書 保証とアフターサービスを参照ください。

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



本製品について

各部の名称・寸法図.....1～4

施工について

施工に関する安全上のご注意.....5～7

適切な使用条件.....7

施工前のご注意.....7

梱包明細.....8～9

施工手順.....10～16

ご使用について

ご使用に関する安全上の

ご注意.....17～20

使い方.....21～22

(サーモ型の場合)

温度調節ハンドルの設定.....23

凍結予防.....24

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り.....24

センサー部の掃除.....24

ストレーナパッキン・

吐水口の掃除.....25

定期的な点検・部品交換

可動部分の点検.....26

配管周りの水漏れ・器具の

ガタツキ・ホコリの除去.....26

(サーモ型の場合)

逆止弁の交換時期.....26

こんなときは

故障？ その前に.....27

本製品の構造.....28～29

その他

仕様.....29

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス.....30

保証書.....裏表紙

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

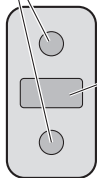
本製品について 各部の名称・寸法図

サーモ型【EK5030型】の場合

各部の名称

ON/OFFセンサー(P.21)

- ・水栓に触れずに水の出し止めができます。
- ・水を出し続けたい時に使用します。



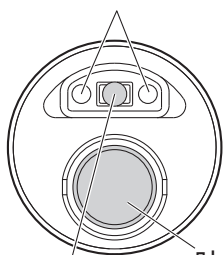
サーモランプ(P.21～22)

- ・吐水温度を光の色で表示します。
- ・高温吐水時の危険表示等のアラーム表示にもなります。
- ・待ち受け時は、ふんわり点滅します。

吐水口本体
(センサー内蔵スパウト)

エコセンサー(P.21)

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で、簡単に節水できます。



吐水口

トップライト(P.21)

- ・吐水時に手元を明るく照らします。

給水ホース

制御ケーブル

逆止弁

(止水栓)

温度調節ハンドル

サーモカートリッジ (内蔵)

電磁弁

電源ボックス

電磁弁ケーブル

フレキホース
(給水側)

フレキホース
(給湯側)

ACアダプター

※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

サーモ型【EK5030型】の場合

●サーモスタート機能

本製品は、サーモスタートの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。

●エコセンサー【無意識に節水】

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で簡単に節水できます。
- ・ON/OFFセンサー操作による吐水中の場合、エコセンサーは無効となります。
- ・感知距離は約50mm～約100mmです。（赤外線センサーを採用）
- ・安全のため、50℃以上のお湯が出ない設定になっています。
（50℃以上を検知した場合は、強制的に止水し、サーモランプが赤色（LED）点滅します。）
- ・エコセンサーでの吐水が1分間続くと、自動的に止水し、サーモランプが黄色（LED）点滅します。
手などをセンサー感知範囲から移動し、再び差し出すと、再吐水できます。

●ON/OFFセンサー【連続吐水時に活用】

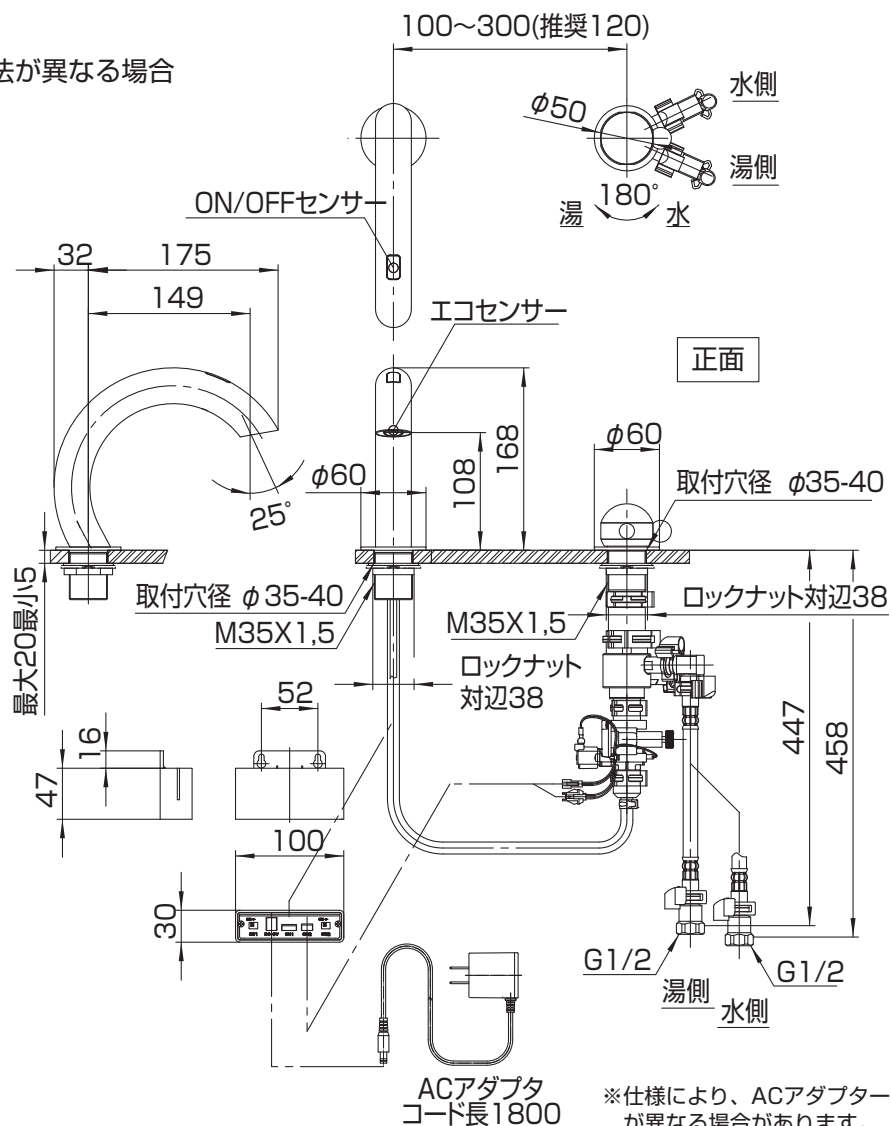
- ・手をかざすと、水の出し止めができます。（OFF機能有 参照：P22）
水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約20mm～約50mmです。（赤外線センサーを採用）
- ・安全のため、50℃以上のお湯が出ない設定になっています。
（50℃以上を検知した場合は、強制的に止水し、サーモランプが赤色（LED）点滅します。）
- ・出しっぱなし防止のため、吐水から1分間続くと、自動的に止水します。

●トップライト【LED照明】

吐水時に手元を明るく照らします。

寸法図

- 仕様により、寸法が異なる場合があります。



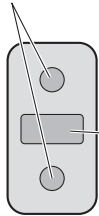
※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

単水栓型【EY5030型】の場合

各部の名称

ON/OFFセンサー(P.21)

- ・水栓に触れずに水の出し止めができます。
- ・水を出し続けたい時に使用します。

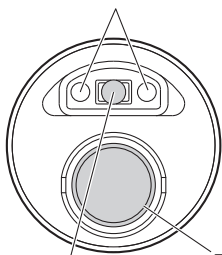


サーモランプ(P.21)
・吐水時に点滅します。
・待ち受け時は、ふんわり点滅します。

吐水口本体
(センサー内蔵スパウト)

エコセンサー(P.21)

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で、簡単に節水できます。



吐水口

トップライト(P.21)
・吐水時に手元を明るく照らします。

CN1差込口：
制御ケーブル
コネクター

CN2差込口：
電磁弁ケーブル
コネクター

DC6V差込口：
ACアダプター
コネクター

待受点滅切替スイッチ
(P.22)
待ち受け時の点滅機能を
停止することができます。
【出荷時：ON】

ON/OFFセンサー
切替スイッチ
(P.22)
ON/OFFセンサーの
機能を停止するこ
とができます。
【出荷時：ON】

給水ホース

制御ケーブル

電磁弁

(止水栓)

電源ボックス

電磁弁ケーブル

※白色コネクターの
接続は不要です。

ACアダプター

※仕様により、ACアダプターのデザイン
が異なる場合があります。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

単水栓型【EY5030型】の場合

●エコセンサー【無意識に節水】

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で簡単に節水できます。
- ・ON/OFFセンサー操作による吐水中の場合、エコセンサーは無効となります。
- ・感知距離は約50mm～約100mmです。（赤外線センサーを採用）
- ・エコセンサーでの吐水が1分間続くと、自動的に止水し、サーモランプが黄色（LED）点滅します。
手などをセンサー感知範囲から移動し、再び差し出すと、再吐水できます。

●ON/OFFセンサー【連続吐水時に活用】

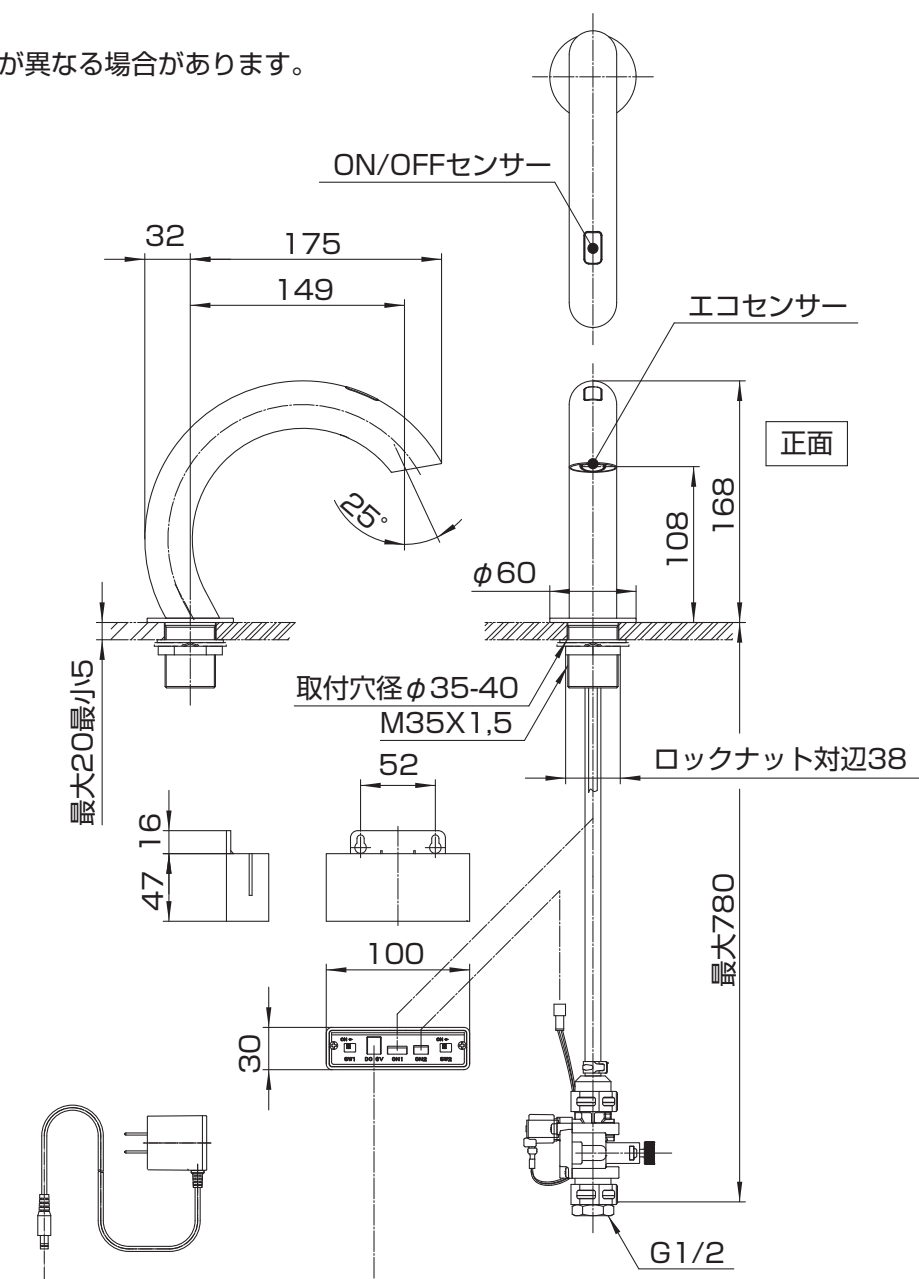
- ・手をかざすと、水の出し止めができます。（OFF機能有 参照：P22）
水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約20mm～約50mmです。（赤外線センサーを採用）
- ・出しっぱなし防止のため、吐水から1分間続くと、自動的に止水します。

●トップライト【LED照明】

吐水時に手元を明るく照らします。

寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



ACアダプター
コード長1800

※仕様により、ACアダプターのデザイン
が異なる場合があります。

施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、重大な結果（傷害・物損）に結び付くおそれがあります。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

 **警告** ……「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」

 **注意** ……「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」



「禁止」



「指示を守る」



「分解禁止」



「ぬれ手禁止」



「水ぬれ禁止」



「シャワー室
での使用禁止」

警告



コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。
故障や感電の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。



電源は交流100V以外は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。



ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。



電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



ストレーナパッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
湯水は逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。
使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。



(単水栓型【EY5030型】の場合)
通水温度は40℃以下で使用してください。
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。



ステンレス製(No.4以上)や鏡面の洗面器には取付けないでください。
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

⚠ 注意

誤検知の原因になるため、下記の条件で施工してください。
鏡面に近い光沢の排水口などが、センサー光軸(センサー感知窓垂直方向)と重ならないように設置してください。(センサーを鏡面のものに向けて使用しないでください)

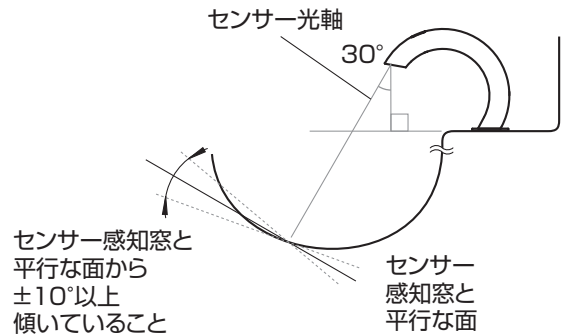


【ステンレスシンクの場合】

- ・シンク面がセンサー感知窓と平行にならないようにしてください。(10°以上傾けてください)
- ・シンク面をセンサー感知窓から250mm以上離してください。
- ・No.4仕上げ以上のシンクに設置しないでください。

【その他のシンクの場合】

- ・シンク面をセンサー感知窓から170mm以上離してください。



施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給水・給湯温度について〕

■サーモ型【EK5030型】の場合

給湯温度	60℃以下
------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

■単水栓型【EY5030型】の場合

給水温度	40℃以下
------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

サーモ型【EK5030型】の場合

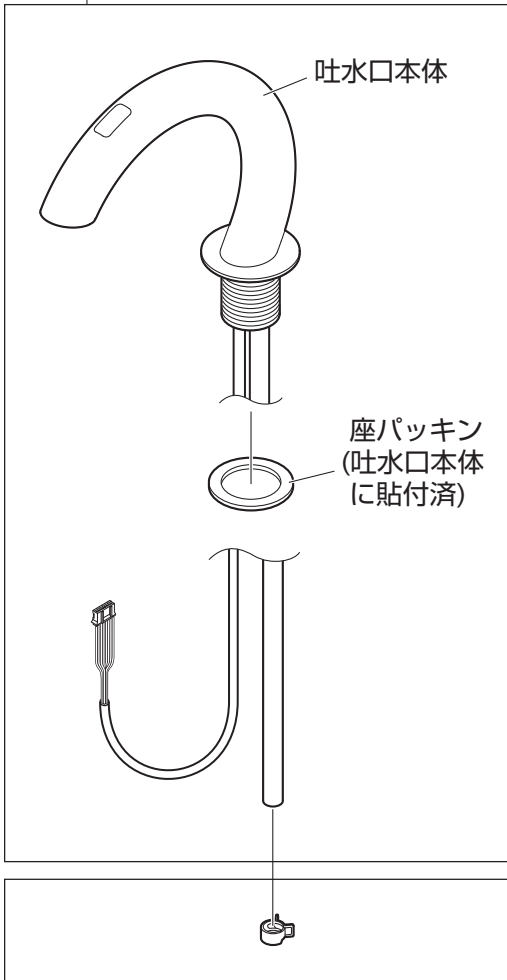
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

開閉工具×1
(本説明書と
ともに同梱)

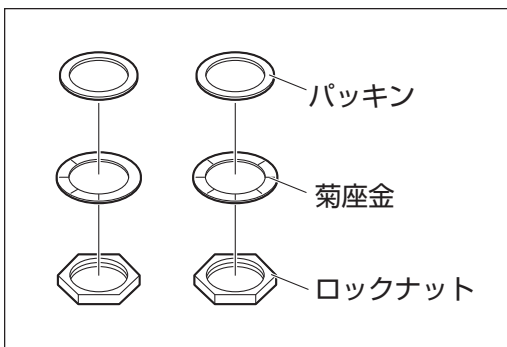


吐水口をはずす工具です。
なくさないように保管し
てください。

吐水口本体 ×1

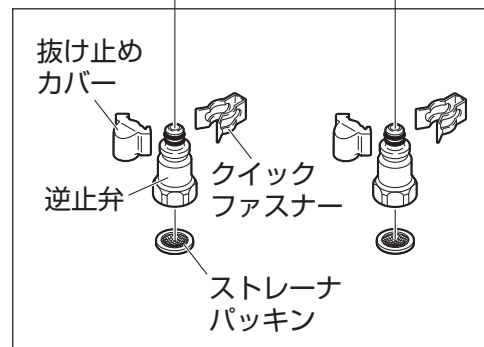
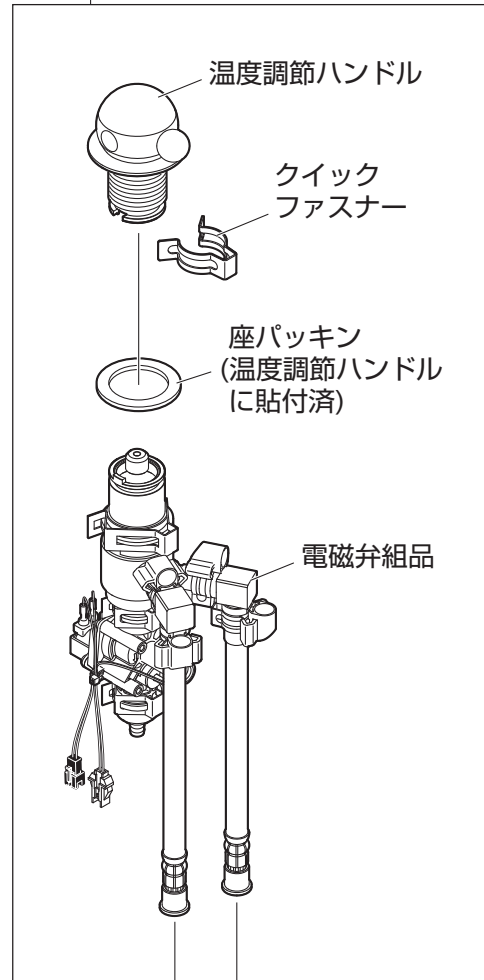


ホースクランプ ×1



ロックナットセット ×2

温度調節ハンドル組品 ×1

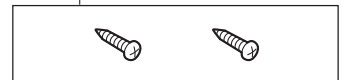


逆止弁 ×2

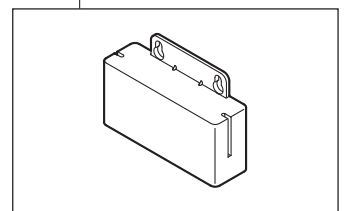
フック ×2



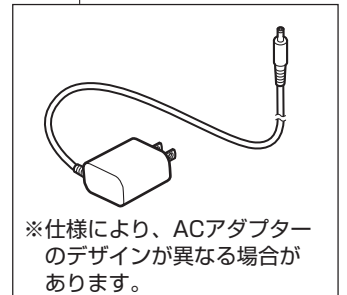
止めねじ ×2



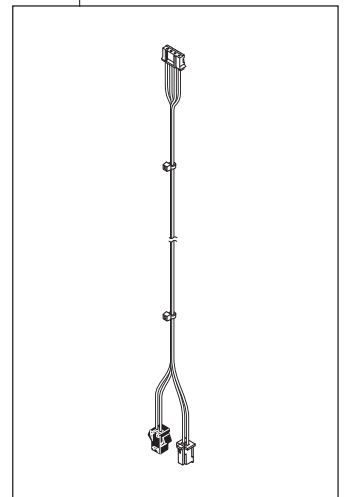
電源ボックス ×1



ACアダプター ×1



電磁弁ケーブル ×1

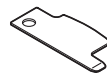


●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

単水栓型【EY5030型】の場合

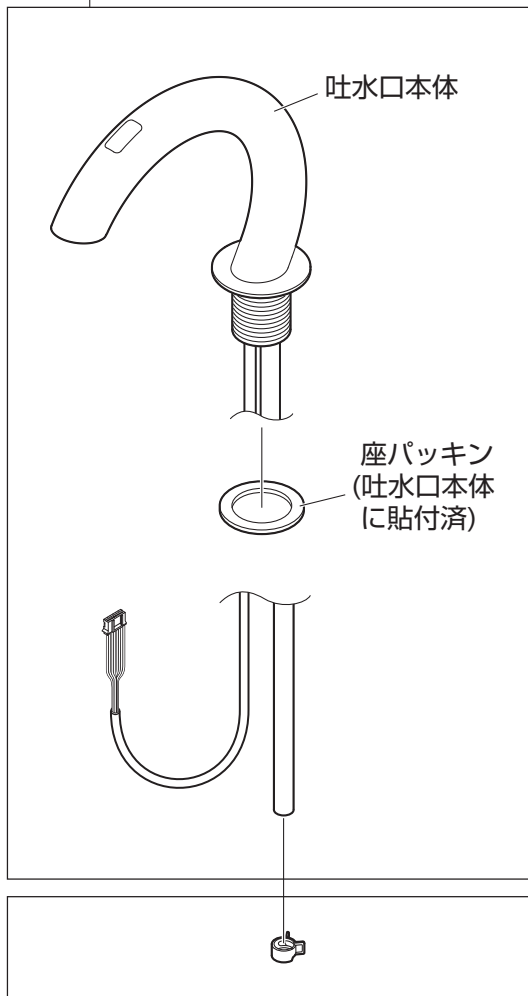
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

開閉工具×1
(本説明書と
ともに同梱)

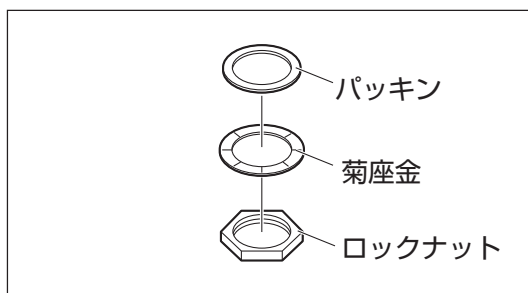


吐水口をはずす工具です。
なくさないように保管し
てください。

吐水口本体 ×1

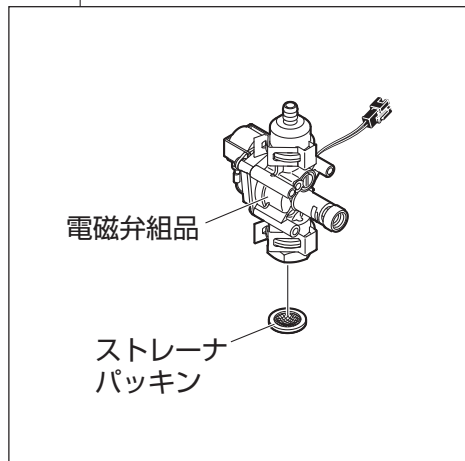


ホースクランプ ×1



ロックナットセット ×1

電磁弁組品 ×1



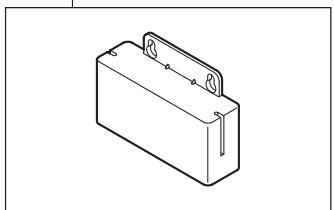
フック ×2



止めねじ ×2



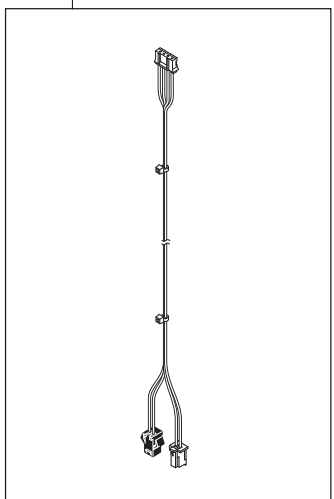
電源ボックス ×1



ACアダプター ×1



電磁弁ケーブル ×1



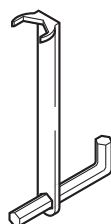
●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

■ ナット締付工具：

ロックナットを回す時に
必要です。

ナット締付工具
SANEI品番：PR357

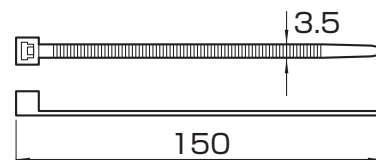


ロックナット
対辺38mm

※
古い水栓を取りはずす際
はロックナット対辺を確
認してください。
上記寸法と異なる場合が
あります。

■ 結束バンド：

出荷時に取付けている結束バンドを
はずす場合、再取付時に必要です。



■ スパナ・モンキーレンチ など：

水栓のナットや
袋ナットが回せ
る工具。



■ ラジオペンチなど：

ホースクランプ
を固定する際に
使用します。



■ 手袋：

ケガ防止のため
に着用してくだ
さい。



■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの
掃除ができるもの。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓
保護のために使
用します。



■ ぞうきんなど：

配管中の残り水
を拭くのに使用
します。



1 配管内の掃除をします。

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉はP27を参照してください。)

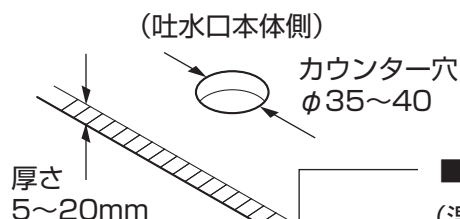
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。

2 吐水口本体を取付けます。

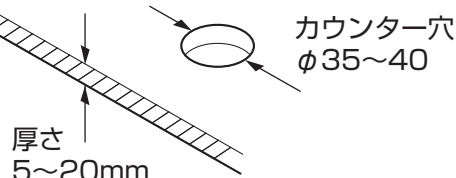
⚠ 注意

- センサー部やコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
- 本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。

(1) カウンター穴の寸法を確認してください。



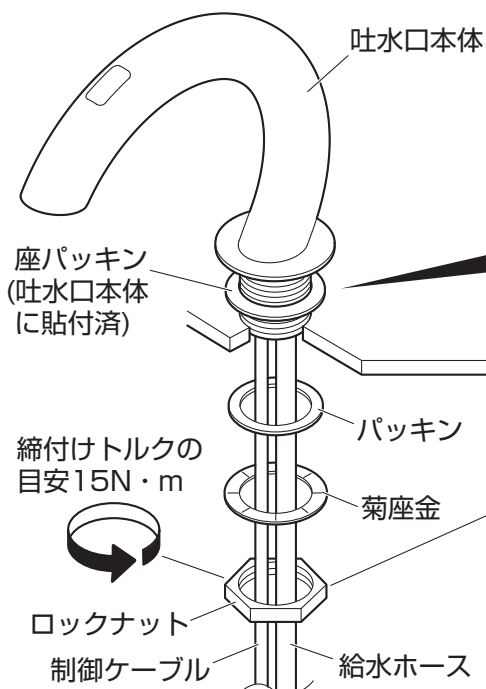
■ サーマ型【EK5030型】の場合
(温度調節ハンドル組品側)



⚠ 注意

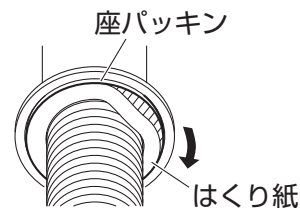
カウンターに厚みのない場合や、
取付面が弱い場合は補強材など
を設けてください。

(2) 取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。

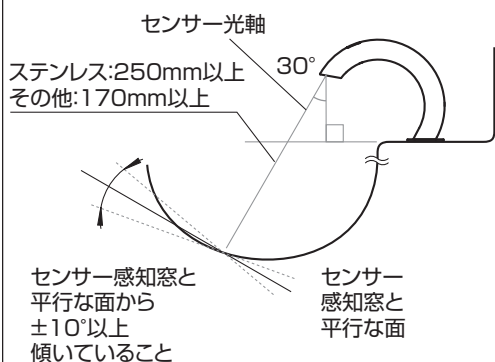


⚠ 注意

- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、吐水口本体をカウンターに押しつけて固定してください。
- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれるとカウンター下への漏水の原因になります。
- 吐水口本体に浮きがないよう注意してください。
- ねじ部で手を切らないように注意してください。
- 給水ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
- 本体とコード類のかみ込みに注意してください。



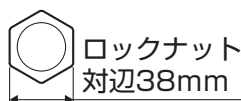
取付場所のスペースを確認してください。



詳細:P9参照



ナット締付工具
SANEI品番:
PR357



⚠ 注意

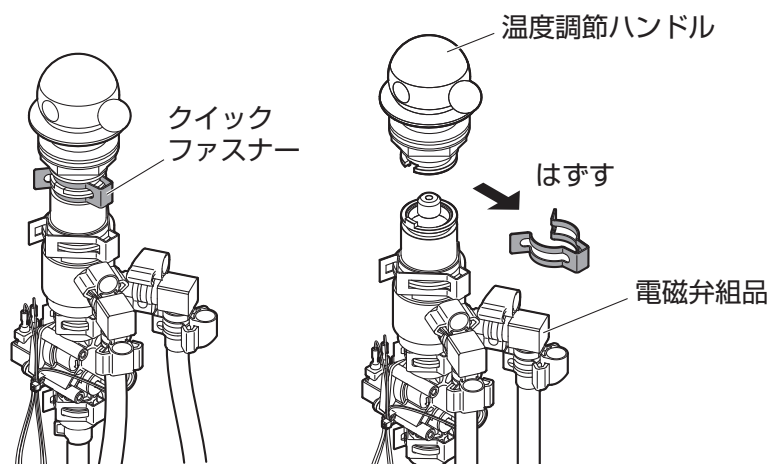
- ロックナットを締付ける際は、吐水口本体が回らないようにしっかりと吐水口本体の根元を押さえてください。
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないとカウンター下への漏水の原因になります。

サーモ型【EK5030型】の場合

※ 単水栓型【EY5030型】の場合は、P14 手順3 に進んでください。

3 温度調節ハンドル組品を取付けます。

- (1) 温度調節ハンドル組品の、一番上のクイックファスナーをはずし、電磁弁組品から温度調節ハンドルをはずしてください。

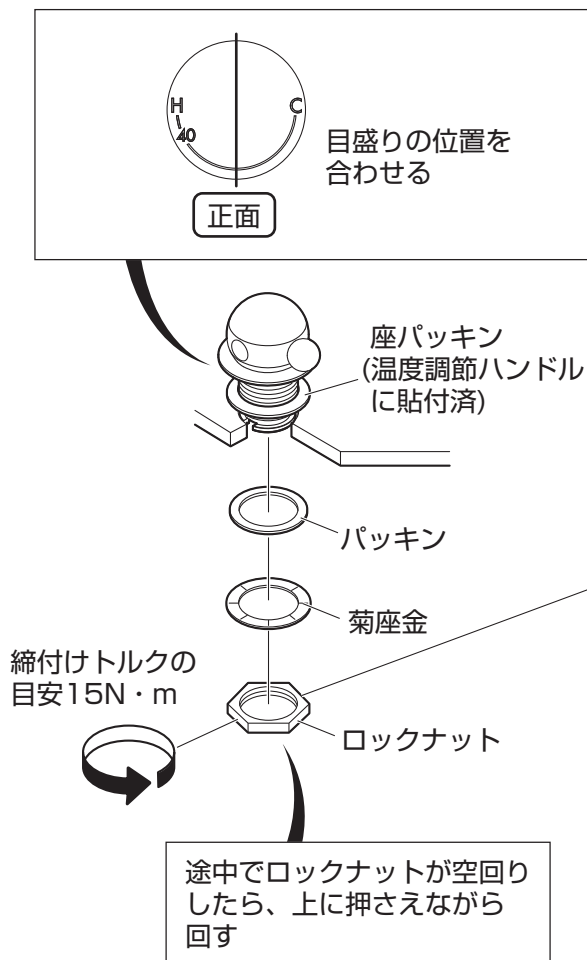


⚠ 注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- クイックファスナーは、後の接続に必要なので、なくさないようにしてください。

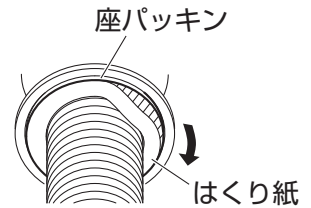
サーモ型【EK5030型】の場合

(2) 温度調節ハンドルが正面を向くように、締付工具で固定してください。



⚠ 注意

●座パッキン裏面のはくり紙をはがし、温度調節ハンドルをカウンターに押しつけて固定してください。



●カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれるとカウンター下への漏水の原因になります。

●温度調節ハンドルに浮きがないよう注意してください。

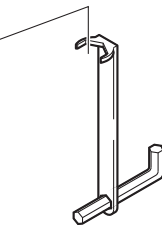
●ねじ部で手を切らないように注意してください。

⚠ 注意

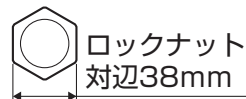
●ロックナットを締付ける際は、温度調節ハンドルが回らないようにしっかりと押さえてください。

●緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付られていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

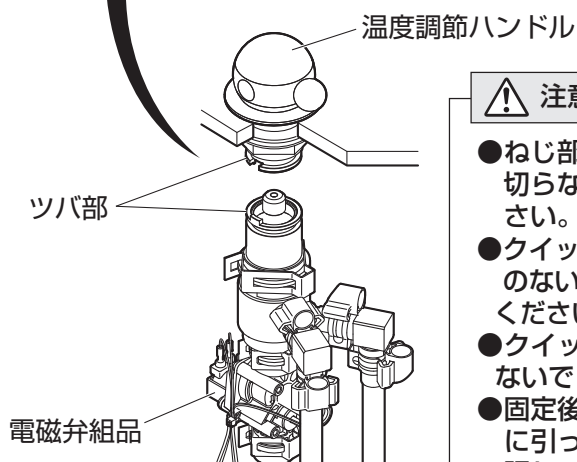
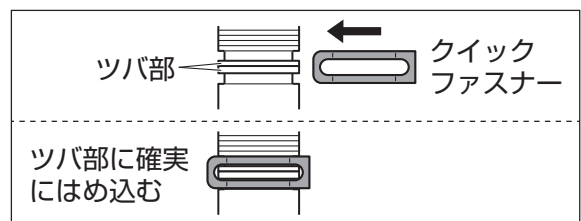
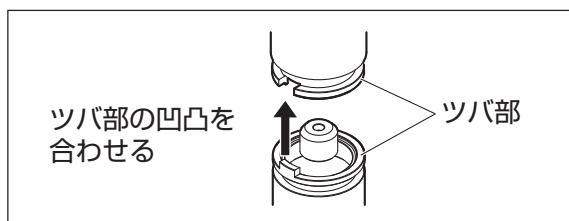
●パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないとカウンター下への漏水の原因になります。



ナット締付工具
SANEI品番：
PR357



(3) 温度調節ハンドルと電磁弁組品のツバ部の凹凸を合わせてはめ込み、クイックファスナーで固定してください。



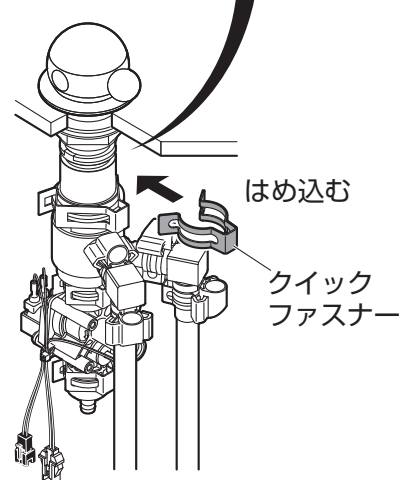
⚠ 注意

●ねじ部やツバ部の凹凸で手を切らないように注意してください。

●クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。

●クイックファスナーは、広げないでください。

●固定後、電磁弁組品を下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。

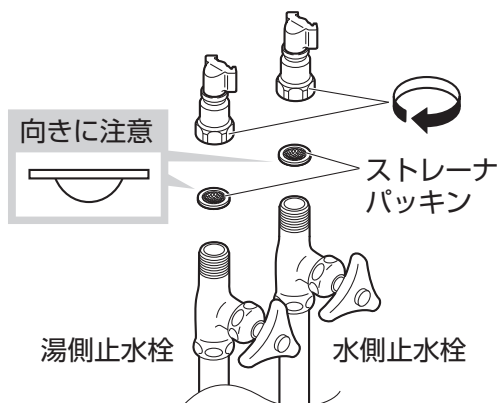


4 逆止弁を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。

⚠ 注意

- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。



5 逆止弁と給水・給湯ホースを接続します。

- (1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

⚠ 注意

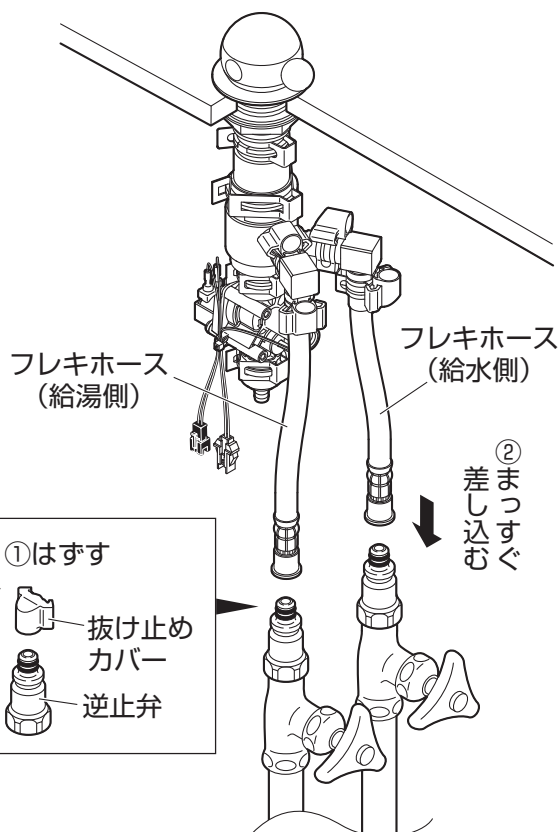
- 逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

ホース施工上の注意点

- ホースの最小曲げ半径50mm。
- ホースの過度な屈曲、過度な引っ張り、ホース同士の不要な接触は避けてください。

摩耗による外傷でホースの性能劣化より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

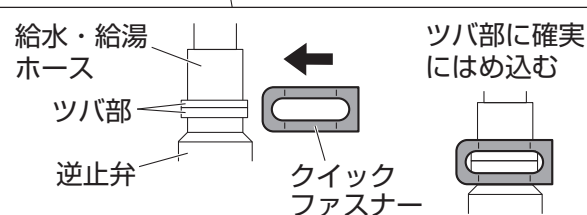
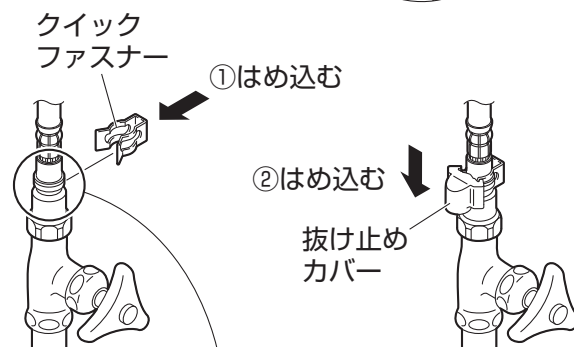
また、ホースが折れた状態でご使用された場合、十分な流量を得られないおそれがあります。



- (2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に確実ににはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。

⚠ 注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



※ 上記手順完了後、P14 手順6 に進んでください。

単水栓型【EY5030型】の場合

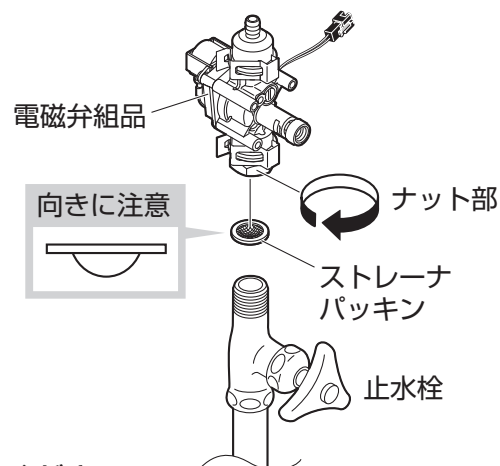
※ サーマ型【EK5030型】の場合は、下記 手順6 に進んでください。

3 給水配管を接続します。

電磁弁組品のキャップを取りはずし、止水栓に取付けてください。

⚠ 注意

- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

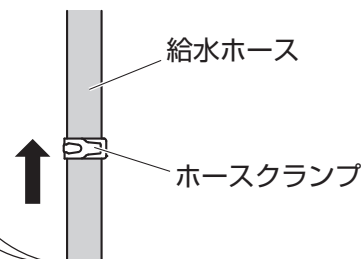


※ 上記手順完了後、下記 手順6 に進んでください。

6 給水ホースを接続します。

(1) ホースクランプを給水ホースに通してください。

- 必要に応じて、給水ホースをカッターなどで適切な長さ（ホースニップルに無理なく届く長さ）に切断してください。
- 給水ホースの切断面は、必ず水平になるようにしてください。

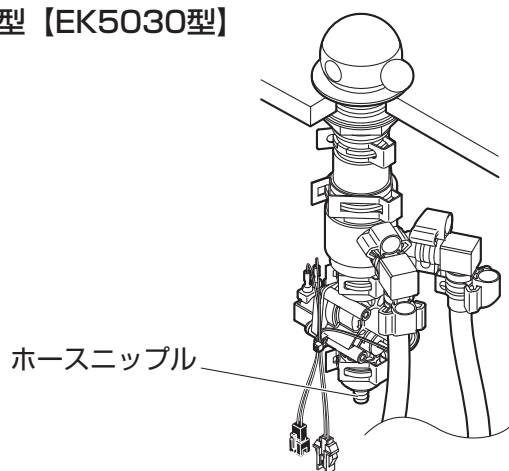


(2) 給水ホースをホースニップルに差し込み、ホースクランプで固定してください。

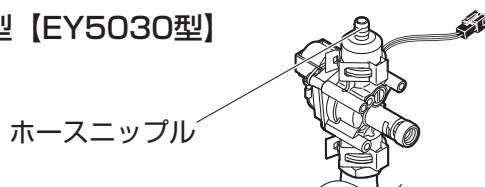
⚠ 注意

- 給水ホースが確実に接続されていることを確認してください。
- 固定の際は必ずホースクランプを用いてください。

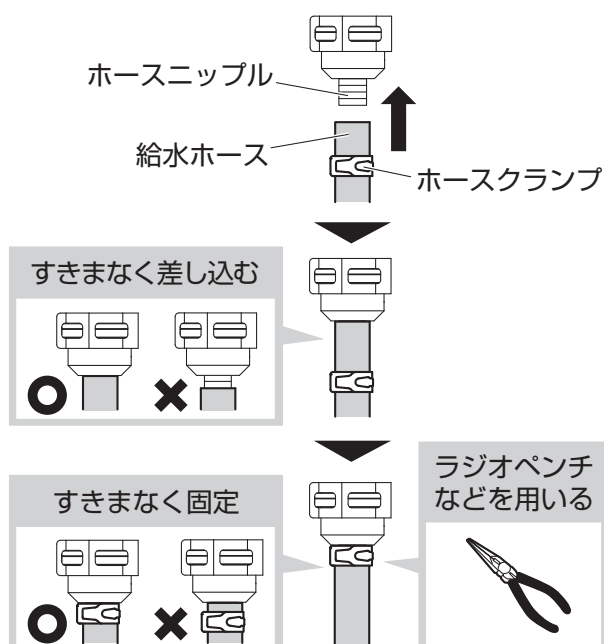
■サーモ型【EK5030型】の場合



■単水栓型【EY5030型】の場合



(イラストは、サーモ型【EK5030型】の場合)



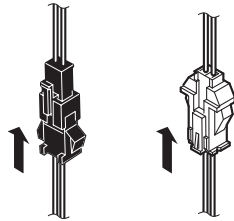
7 コード類を接続します。

- (1) 電磁弁ケーブルの黒色・白色コネクターを、電磁弁組品の黒色・白色コネクターにそれぞれ接続してください。
(単水栓型【EY5030型】の場合は、黒色コネクターのみ接続してください。)

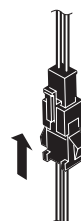
⚠ 注意

黒色・白色コネクターは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

■サーモ型 【EK5030型】の場合

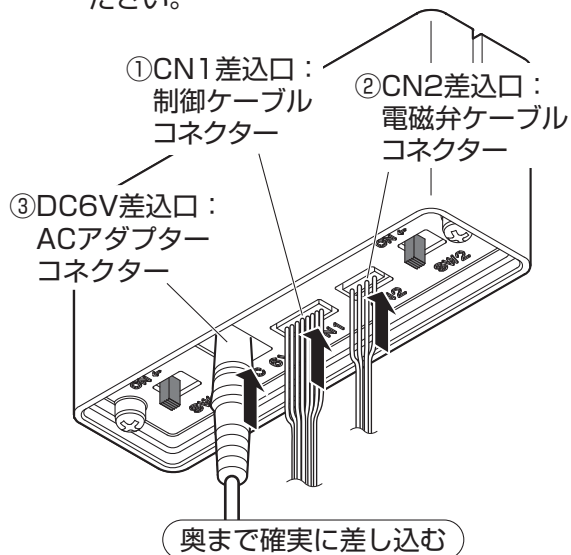


■単水栓型 【EY5030型】の場合



※白色コネクターの接続は不要です。

- (2) 制御ケーブル、電磁弁ケーブル、ACアダプターの順に、それぞれのコネクターの端子を電源ボックスの差込口に奥まで確実に差し込んでください。
コンセントにACアダプターを根元まで確実に差し込み、サーモランプがふんわり点滅していることを確認してください。



ACアダプターのケーブルを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で床に接触させてください。

④ACアダプター 根元まで



⑤サーモランプ ふんわり点滅



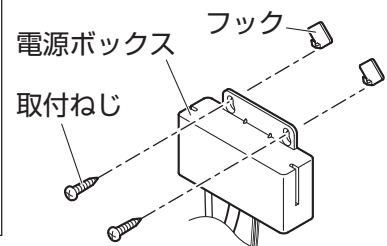
- (3) 電源ボックスをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
ACアダプターのケーブルは、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

⚠ 注意

- 電源ボックスは、結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
- ACアダプターのケーブルを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。
- コード類が扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。コード類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にコードが挟まり、コードの断線や故障の原因となります。
- 湯側止水栓やその周辺には、コード類が触れないように注意してください。給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。
- フックを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。
- フックは、何度も取りはずさないでください。取付面の強度が落ち、落下の原因になります。

(フック裏面)

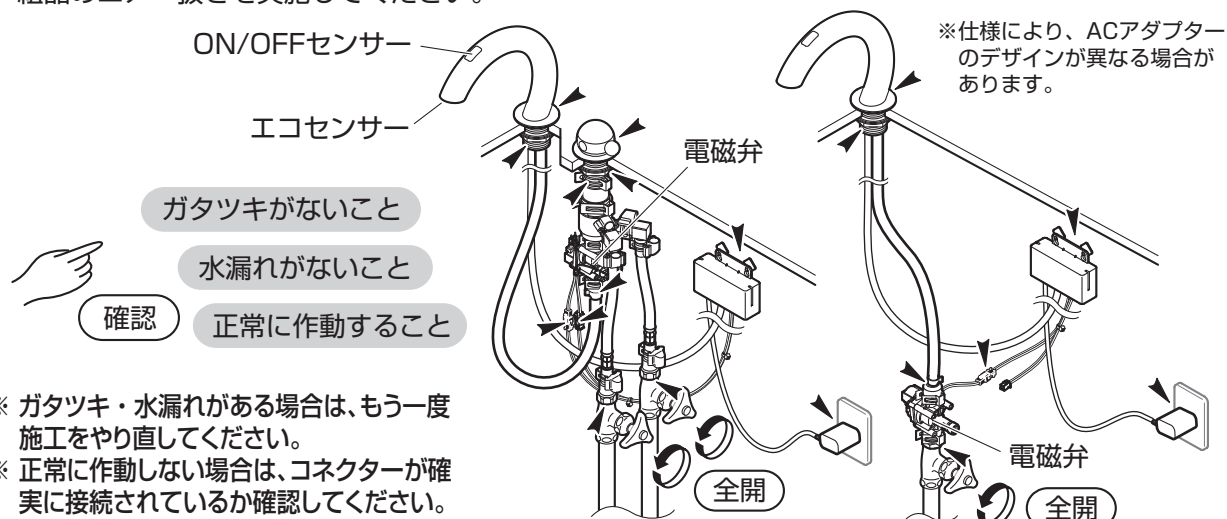
はくり紙



8 施工後、下記項目を点検してください。

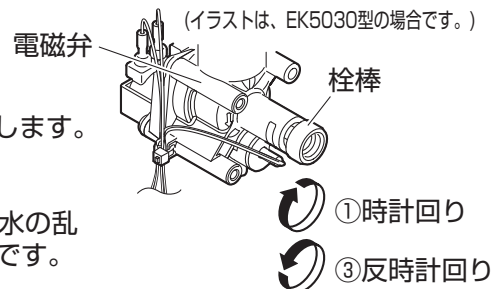
- ・接続後、各部にガタツキがないことを確認する。
- ・ガタツキの確認後、止水栓を全開にし、ON/OFFセンサーに手をかざして吐水させ、各部に水漏れがないことを確認する。
- ・ON/OFFセンサーおよびエコセンサーに手をかざして吐水・止水を行い、センサーが正常に作動することを確認する。参照：P21～22
- ・吐水・止水を行い、各部に水漏れがないことを確認する。
- ・吐水・止水を行い、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことを確認する。

吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、下記の手順で電磁弁組品のエア抜きを実施してください。



【エア抜き手順】

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
※止水栓が開いていれば、センサー操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ ON/OFFセンサーに手をかざし、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。

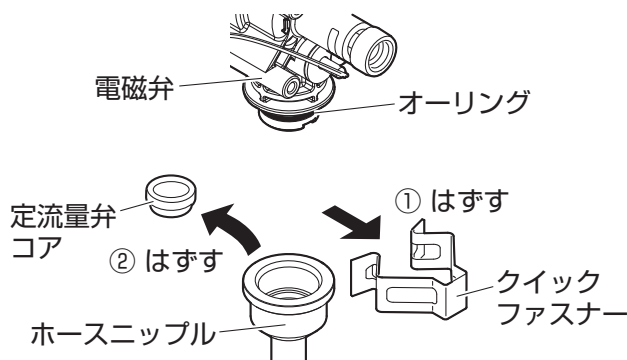


9 流量の調節をします。

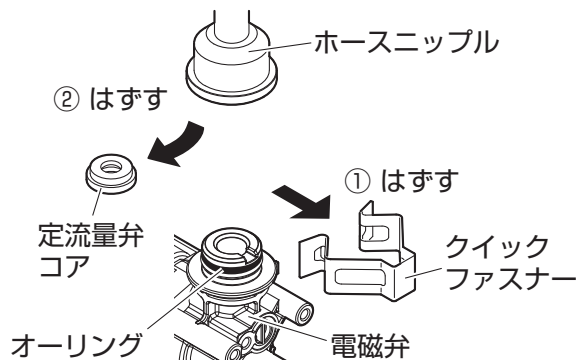
定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量弁を取りはずして止水栓で流量を調節してください。

- ① 止水栓や元栓などを閉じ、止水します。
- ② ホースニップルと電磁弁を固定しているクイックファスナーを外します。
※結束バンドはニッパーなどで切断し、再接続時は新たな結束バンドをご準備ください。参照：P10
- ③ ホースニップル内の定流量弁コアを取りはずします。

■サーモ型【EK5030型】の場合



■単水栓型【EY5030型】の場合



※ 電磁弁に付いているオーリングは、はずさないでください。オーリングが入っていないと、水漏れの原因になります。

- ④ 逆の手順にて部品を組付け、クイックファスナーを新しい結束バンドで固定してください。
- ⑤ 止水栓で流量を調節してください。

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、重大な結果（傷害・物損）に結び付くおそれがあります。
安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

⚠ 警告 ……「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」

⚠ 注意 ……「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」



「禁止」



「指示を守る」



「接触禁止」



「分解禁止」



「ぬれ手禁止」



「水ぬれ禁止」



「電源プラグを
コンセントから抜く」



「シャワー室
での使用禁止」

⚠ 警告



本製品は、日本国内の洗面用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。

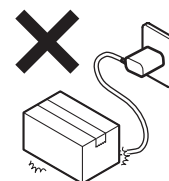
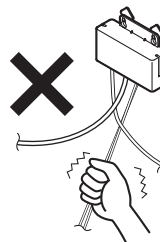


ACアダプターおよびコード類が破損するような
ことをしないでください。

【してはいけない例】

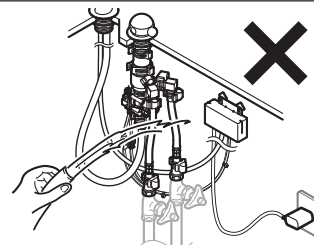
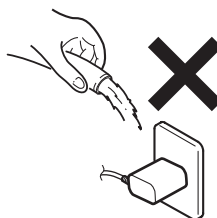
- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

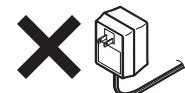


ACアダプターや電源ボックス・
電磁弁組品・コード類に水や洗剤、
汚水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



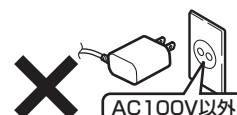
ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



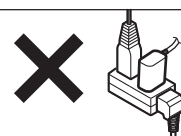
ガタついているコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。
火災の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。
火災の原因になります。



電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わないでください。
火災や感電の原因になります。



警告



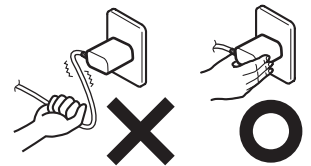
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで
十分差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



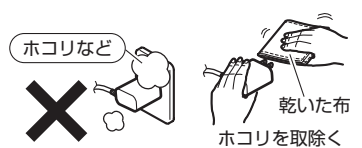
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を
持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでくだ
さい。
感電の原因になります。



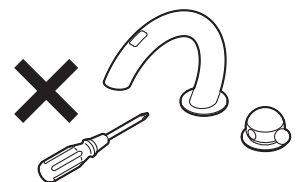
ACアダプターについたホコリは、取除いてください。
ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、
火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



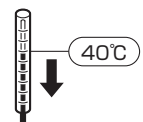
浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置し
ないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



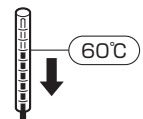
●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
火災や感電の原因になります。
●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取り
はずしなどの改造はしないでください。
故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがを
したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



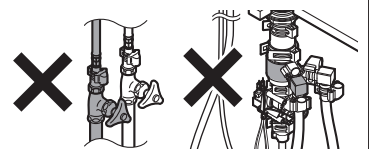
(単水栓型【EY5030型】の場合)
通水温度は40℃以下で使用してください。
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓
が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。
また、60℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
湯側配管や電磁弁周辺に、直接肌を触れないでください。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



(サーモ型【EK5030型】の場合)
温度調節ハンドルの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



⚠ 警告



(サーモ型【EK5030型】の場合)

温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。

ゆっくり



(サーモ型【EK5030型】の場合)

**凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度が
あっているか確認してください。**

凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。

確認

40℃

40

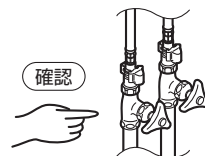


(サーモ型【EK5030型】の場合)

**ストレーナパッキンの掃除をする際は、湯側配管部が熱くない
ことを確認してください。**

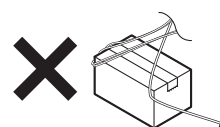
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。参照：P25

確認



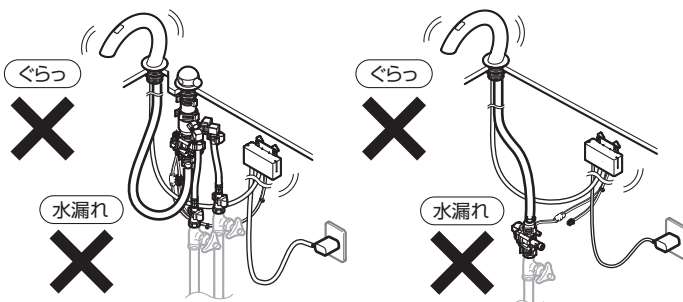
**収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように
注意してください。**

コードが断線し、感電・故障の原因となります。



**定期的に、配管周りの水漏れや、
ガタツキがないか確認してくだ
さい。**

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・
けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



⚠ 注意

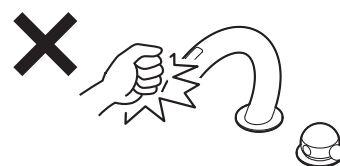


製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

- 固いものをぶつける ● 重いものを載せる
- 過度な体重をかける・もたれる

故障や漏水の原因になります。



(樹脂メッキ付部品の場合)

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

- 鋭利な物を当てる ● 衝撃を与える ● 落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。

万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・ハンドル

など



メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。

メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。



**吐水口先端に重いものを下げたり、吐水口本体や温度調節ハンドルを
力をかけて回したりしないでください。**

変形、破損および吐水口本体や温度調節ハンドルの固定がゆるむおそれがあります。

⚠注意



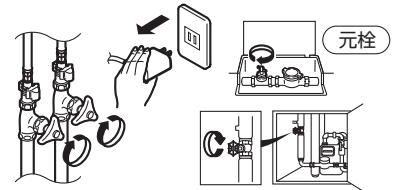
凍結が予想される場所では使用しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。



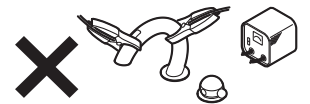
長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。

誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。

しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

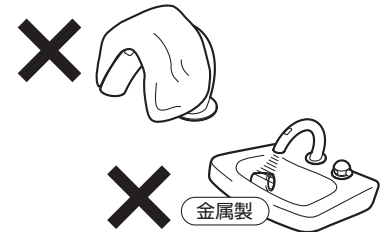


●センサー感知窓の上を覆わないでください。

誤作動の原因となります。

●洗面器、シンクの中に障害物を置かないでください。

誤作動の原因となります。特に、金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。

誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。

誤作動の原因になります。



使用する時は、吐水口をふさがないでください。

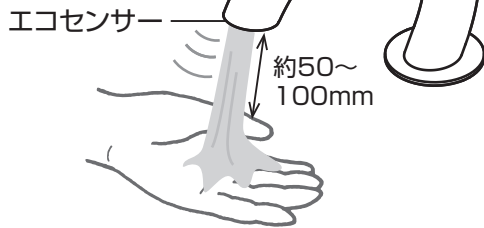
シンク下への漏水の原因となります。



ご使用について

使い方

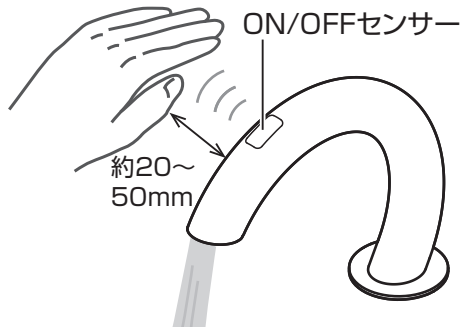
手を近づけると
水が出ます



●手を離すと、止まります。

■水を出したままにしたいとき
(約1分間まで)

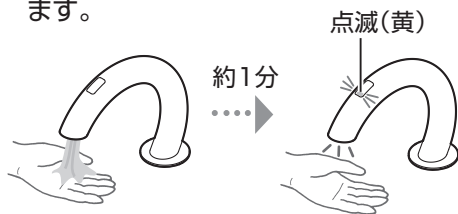
手をかざすと、水が出ます



●再度手をかざすまで、出続けます。

水は、約1分たつと、自動で
止まります(出しっぱなしを防ぐため)

●下から手を近づけて水を出したときも、
手を離さなくても約1分で水が止ま
ります。



→いったん手を離してから
再度近づけると、また水が出ます。

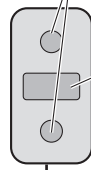
50℃以上のお湯は出ません

安全のため、50℃以上のお湯は出ない
ように設定されています。
(サーモ型のみ)



ON/OFFセンサー

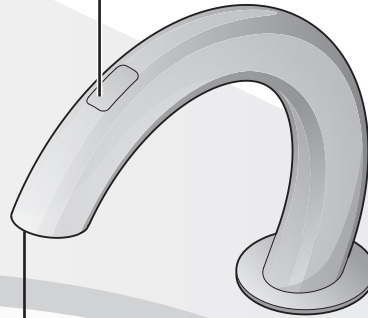
手などを感知すると水が出て、
再度感知すると止まります。



サーモランプ(P.22)

待ち受け中はふんわり点滅し、
吐水中は早く点滅します。

●吐水温度の目安を色でお知らせします。
(サーモ型のみ)



トップライト

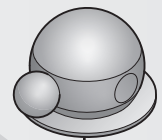
吐水時に、手元を
明るく照らします。



エコセンサー

手などを感知している
間のみ、水が出ます。

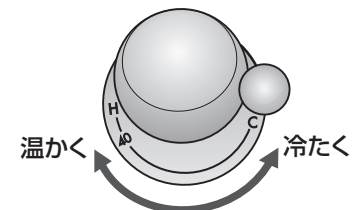
●感知なくなると
約1秒で自動で止まるため、
簡単に節水できます。



温度調節
ハンドル

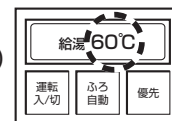
サーモ型のみ

温度を調節できます



給湯機の給湯温度設定 (サーモ型のみ)

50～60℃をおすすめします。
(誤操作などによる、やけど防止のため)

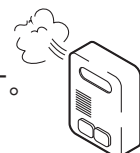


- 設定温度が低いと、温度調節機能が正常に働かないおそれがあります。
(給湯機の設定温度が優先されるため)
- 温度調節ハンドルを回しても高温の水が出ないときは、給湯機の給湯温度
設定をご確認ください。
- 本製品の工場出荷時は、温度調節ハンドルが「40」位置のときに約40℃、
「H」位置のときに約45℃以下のお湯が出るように調整されています。
これよりも高温のお湯が必要な場合は、設定・調整作業をご依頼ください。
調整後は、やけどに注意してご使用ください。

●設定・調整作業は承っておりますが、有料となります。
(作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます)
●実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

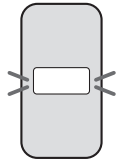
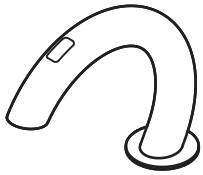
■瞬間式給湯機が着火しないとき

水温の高い夏場は、着火しない場合があります。
→給湯機の温度設定を下げてください。



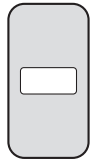
サーモランプの光り方

待ち受け中



ふんわり点滅(白)

吐水中



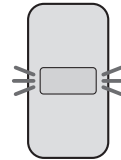
単水栓型の場合

点滅(白)

サーモ型の場合

点滅(吐水温度に応じた色)

下から手を近づけて水を出したときの
自動止水中※1

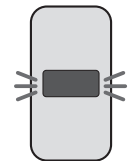


点滅(黄)

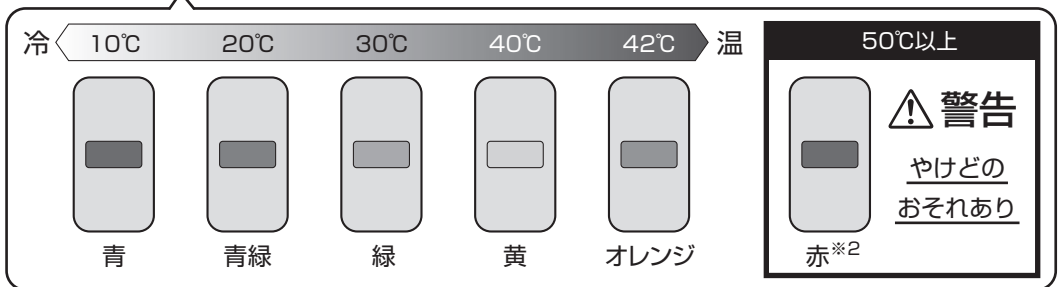
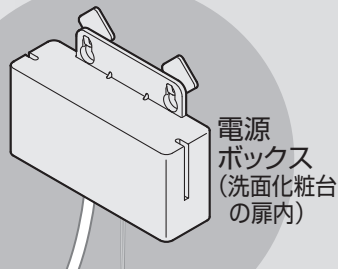
高温止水中※2
(サーモ型のみ)

⚠ 警告

やけどのおそれあり



点滅/点灯(赤)※2



※1 水を約1分出し続けると、自動で止まります。(P.21)

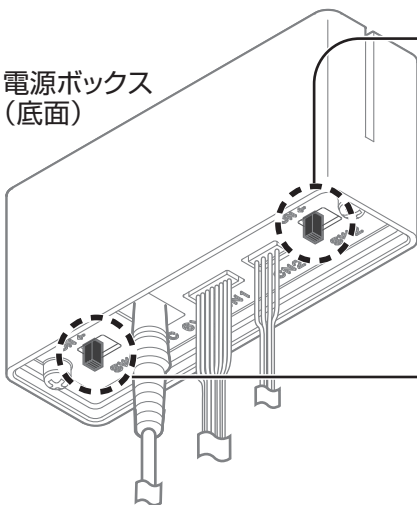
※2 50℃以上のお湯は出ないように設定されています。

高温を検知した場合は、強制的に止水します。(P.21)

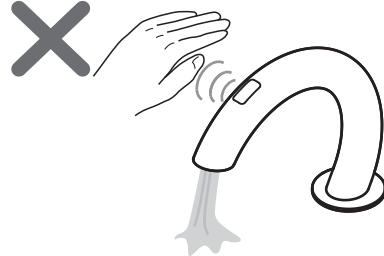
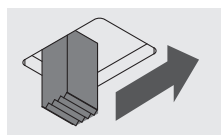
エコセンサーが手などを感知しているときは点滅し、感知していないときは点灯します。

設定を変更するとき

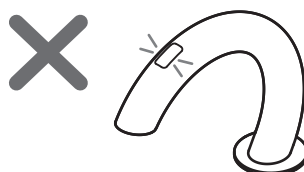
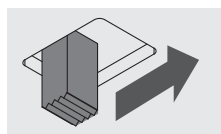
電源ボックス
(底面)



■上から手をかざしても、水が出ないようにしたいとき
(ON/OFFセンサーをOFFにする)



■待ち受け時に、サーモランプを点滅させたくないとき



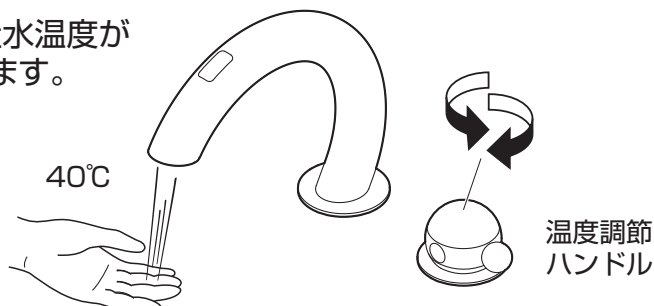
ご使用について 温度調節ハンドルの設定(サーモ型の場合)

温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

1 給湯機の給湯温度を設定します。

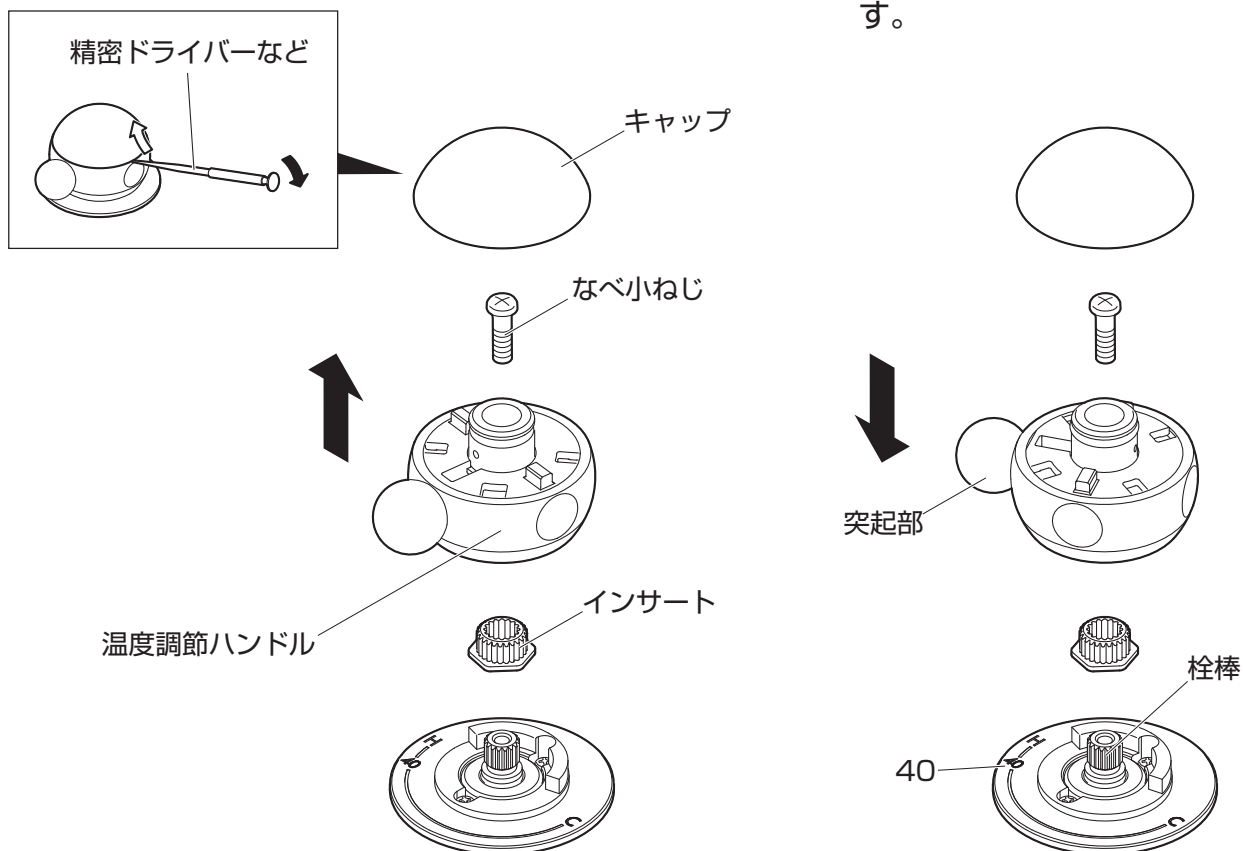
給湯温度の設定についてはP21を参照してください。

2 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が適温(およそ40℃)になるように回します。



3 吐水温度が適温(およそ40℃)になる位置で温度調節ハンドルをはずします。

4 目盛の40の文字と温度調節ハンドルの突起部を合わせて、温度調節ハンドルを取付けます。



⚠ 注意

- キャップを取りはずす際は、工具などで製品に傷つかないように、注意してください。(例：細い工具などにテープを巻いて取りはずす。)
- 温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。
- 目盛・数字とも目安としてご使用ください。
- 温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。
- 部品をなくさないように注意してください。

ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意



- 中性洗剤以外は使用しないでください。
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし・メラミンフォームなど
- 製品の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
製品の割れや変色変質の原因となります。



日頃のお手入れ センサー部の掃除

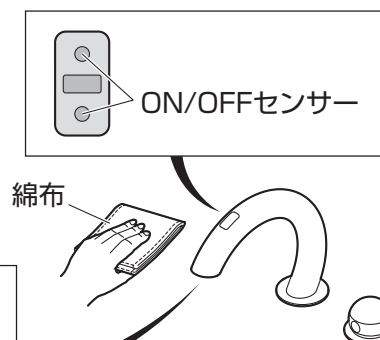
センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していると、勝手に水が出るなど誤作動することがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。

⚠ 注意

拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。



日頃のお手入れ ストレーナパックン・吐水口の掃除

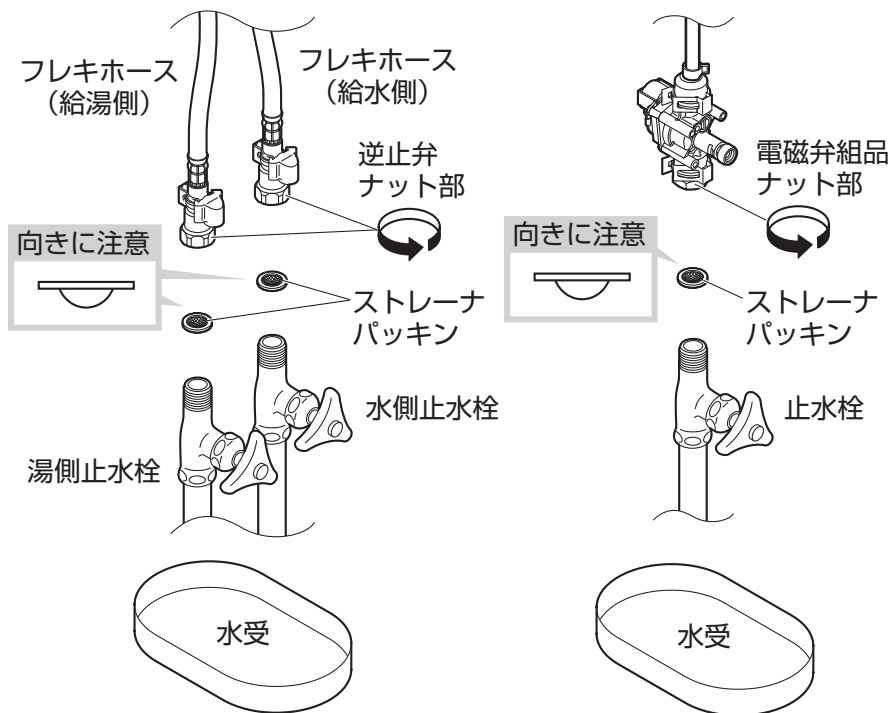
ストレーナパックン・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、
長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を回し、止水します。
- 2 ■ ストレーナパックンを掃除する場合 … 水受を用意し、ナット部をはずします。
■ 吐水口を掃除する場合 … 付属の開閉工具でハウジングをはずします。

ストレーナパックンを掃除する場合

⚠ 注意

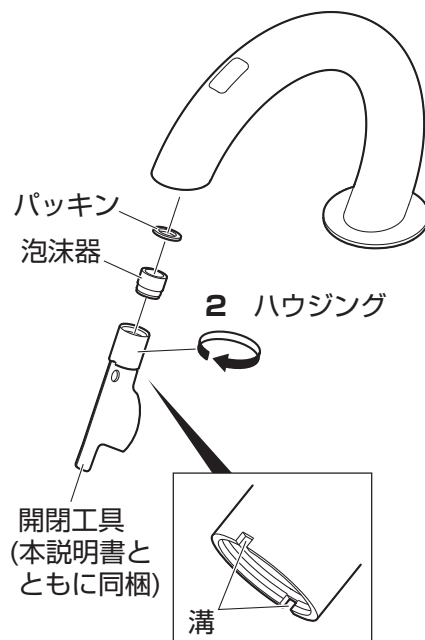
- 電源ボックスやコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
- 湯側配管部は高温になっているおそれがありますのでご注意ください。
- 湯側のナット部をはずす際は、高温の湯が噴き出すおそれがありますので、ご注意ください。
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。



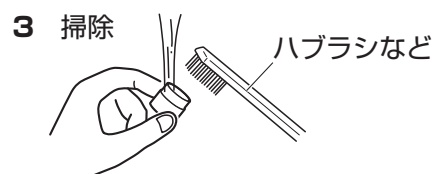
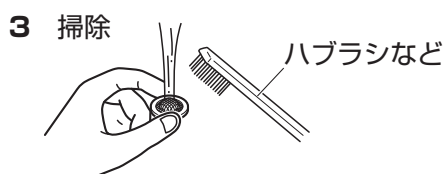
吐水口を掃除する場合

⚠ 注意

- センサー部に汚れ、傷つかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。
- 部品が排水口に落ちないように、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



- 3 ハブラシなどでストレーナパックン、または泡沫器を掃除します。



掃除後

部品を逆の手順で取付けます。

再使用时

- はずした部品が確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認を行ってください。参照：P16

⚠ 注意

- ストレーナパックン、またはパックンが入っていることを確認してください。
- ストレーナパックン、またはパックンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- ストレーナパックンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

定期的な点検

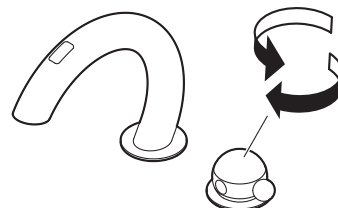
可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。温度調節ハンドルの点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき温度調節ハンドルを回してください。
(月1回を目安)

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

温度調節ハンドルが回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

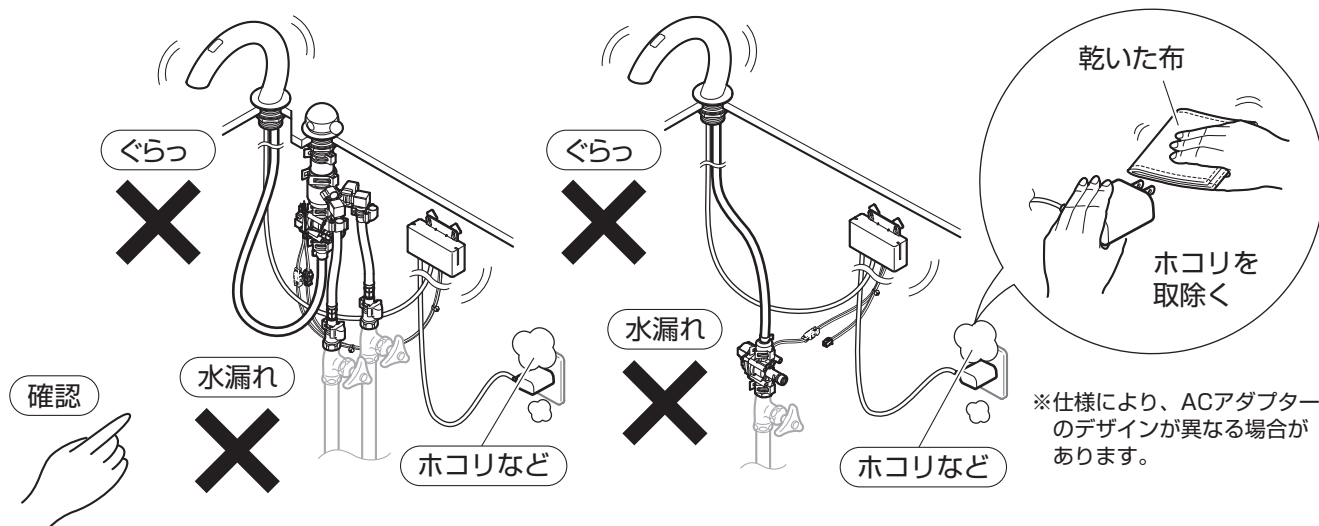
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、ACアダプターについたホコリを取除いてください。(月1回を目安)

ACアダプターの端子にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。

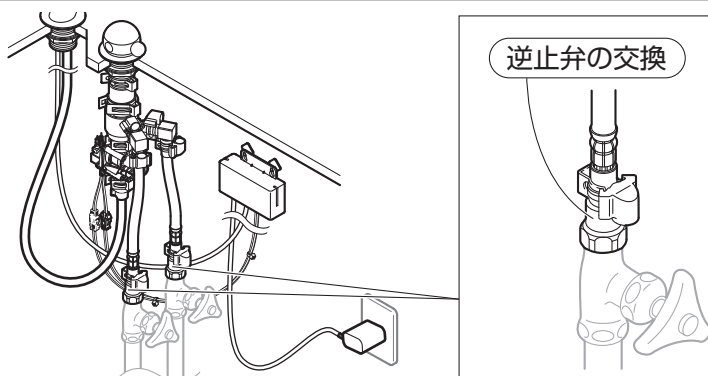
定期的な部品交換

逆止弁の交換時期(サーモ型の場合)

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



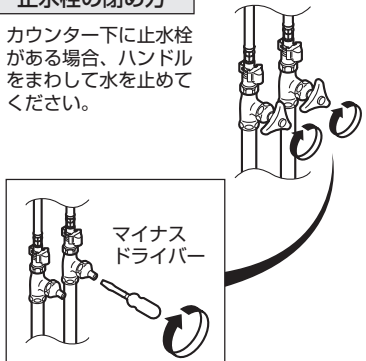
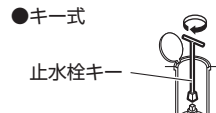
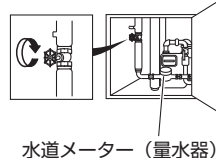
こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

吐水しない		
◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 → 【A】	◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【F】	【A】 ACアダプターを確実に差し込んでください。 参照：P18
◇ コード類は確実に接続されていますか。 → 【B】	◇ (ON/OFFセンサー使用時) ON/OFFセンサーの切替スイッチがOFFではありませんか。 → 【G】	【B】 コード類を確実に差し込んでください。 参照：P15
◇ 止水栓は開いていますか。 → 【C】	◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。 → 【H】	【C】 止水栓を十分に開いてください。 参照：P16
◇ 停電中ではありませんか。 → 【D】	◇ サーモランプが赤色点滅(点灯)していませんか。 → 【I】	【D】 復旧するまで待機してください。
◇ 断水中ではありませんか。 → 【D】		
◇ ストレーナパックン・吐水口のカゴはありますか。 → 【E】		
サーモランプが黄色点滅している		
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【F】		【E】 ストレーナパックン・吐水口の掃除をしてください。 参照：P25
◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。 → 【H】		
水(湯)が止まらない		
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【F】		【F】 センサー部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。 参照：P24
◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。 → 【H】		【G】 電源ボックスのON/OFFセンサー切替スイッチをONにしてください。 参照：P21～22
◇ 電磁弁の栓棒が開いていませんか。 → 【J】		
流量が少ない		
◇ 止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		【H】 センサー感知エリア内の障害物を移動してください。 参照：P20
◇ ストレーナパックン・吐水口のカゴはありますか。 → 【E】		
(サーモ型の場合) 高温しか出ない		
◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		【I】 給湯温度を下げ、温調操作を行い、水栓の温度が下がるのを待ってください。 参照：P21～22
◇ 水側のストレーナパックンのゴミづまりはありますか。 → 【E】		【J】 電磁弁の栓棒を反時計回りに閉めてください。 参照：P16
◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → 【K】		
(サーモ型の場合) 低温しか出ない		
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】		【K】 温度調節ハンドルの設定を確認してください。 参照：P23
◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		【L】 給湯機の設定温度・作動を確認してください。 参照：P21～22
◇ 湯側のストレーナパックンのゴミづまりはありますか。 → 【E】		
◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → 【K】		
(サーモ型の場合) 温度調節がうまくできない		
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】		【M】 ON/OFFセンサー操作時(吐水時)はエコセンサーでの操作ができません。
◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		【N】 エコセンサー操作時(吐水時)はON/OFFセンサーでの操作ができません。
◇ ストレーナパックンのゴミづまりはありますか。 → 【E】		
◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → 【K】		
エコセンサーでの操作ができない		
◇ ON/OFFセンサーで操作中ではありませんか。 → 【M】		【O】 反射物を移動してください。 参照：P20
ON/OFFセンサーでの操作ができない		
◇ エコセンサーでの操作中ではありませんか。 → 【N】		【P】 直射日光が入らないようにしてください。 参照：P20
◇ ON/OFFセンサーの切替スイッチがOFFではありませんか。 → 【G】		【Q】 誤作動の原因となる機器を取り除いてください。 参照：P6
水(湯)が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)		
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【F】		【R】 栓棒操作(右回転して水を出す・左回転して水を止める)を2～3度繰り返して、様子を見てください。 参照：P16
◇ センサーの先に留め水や鏡の様な反射物がありますか。 → 【O】		
◇ インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。 → 【P】		
◇ 直射日光が入っていませんか。 → 【Q】		
水が出る時、または水が止まる時にドドドッと水が震える		
◇ 電磁弁が震えていませんか。 → 【R】		【S】 電磁弁ケーブル(白色コネクター)を確実に差し込んでください。 参照：P15
(サーモ型の場合) 吐水中の温度表示が白色点滅している		
◇ 電磁弁ケーブル(白色コネクター)が正しく接続されていますか。 → 【S】		上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

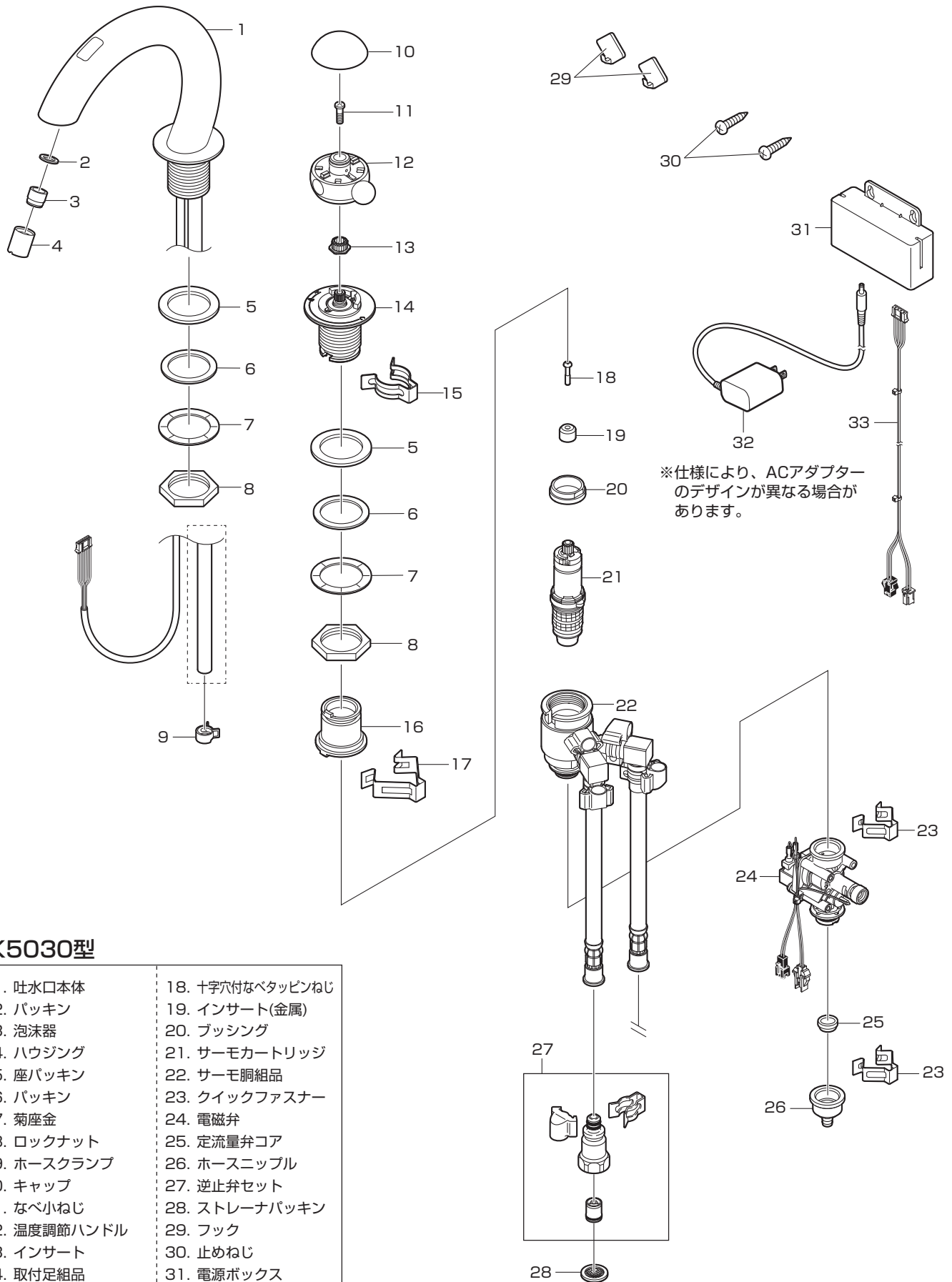
漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を開めてください。

止水栓の開め方	
カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。 	元栓の開め方 元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※ 一部の地域では左まわしの場合があります。 ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。 ● キー式  ● ハンドル式  水道メーター(量水器) ■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。  水道メーター(量水器)

こんなときは 本製品の構造

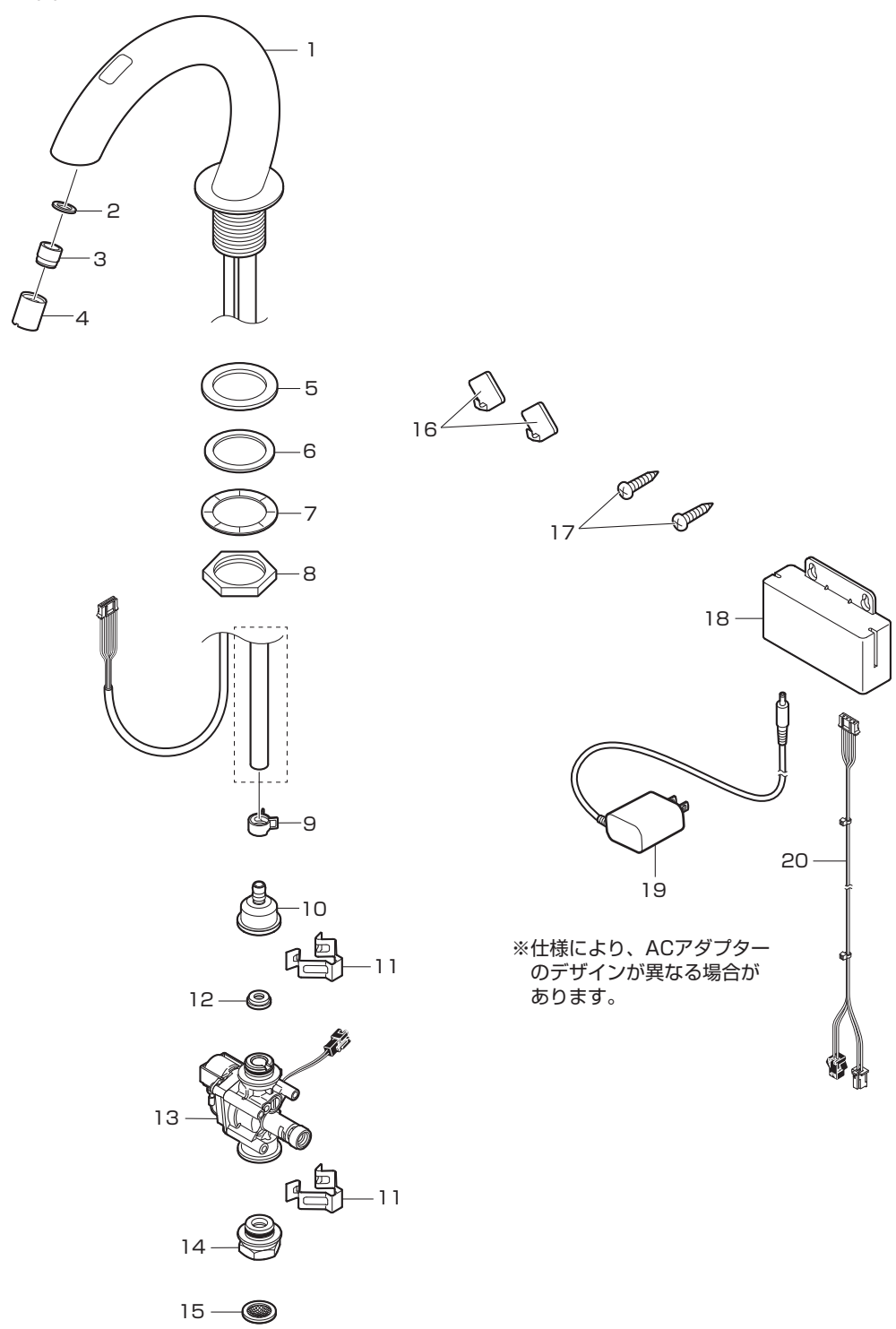
本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。
※部品として注文いただける単位のものではありません。



EK5030型

1. 吐水口本体	18. 十字穴付なベタピンねじ
2. パッキン	19. インサート(金属)
3. 泡沫器	20. プッシング
4. ハウジング	21. サーモカートリッジ
5. 座パッキン	22. サーモ胴組品
6. パッキン	23. クイックファスナー
7. 菊座金	24. 電磁弁
8. ロックナット	25. 定流量弁コア
9. ホースクランプ	26. ホースニップル
10. キャップ	27. 逆止弁セット
11. なべ小ねじ	28. ストレーナパッキン
12. 温度調節ハンドル	29. フック
13. インサート	30. 止めねじ
14. 取付足組品	31. 電源ボックス
15. クイックファスナー	32. ACアダプター
16. 接続アダプター	33. 電磁弁ケーブル
17. クイックファスナー	

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。
※部品として注文いただける単位のものではありません。



EY5030型

- 1. 吐水口本体
- 2. パッキン
- 3. 泡沫器
- 4. ハウジング
- 5. 座パッキン
- 6. パッキン
- 7. 菊座金
- 8. ロックナット
- 9. ホースクランプ
- 10. ホースニップル
- 11. クイックファスナー
- 12. 定流量弁コア
- 13. 電磁弁
- 14. ジョイント金具
- 15. ストレーナパッキン
- 16. フック
- 17. 取付ねじ
- 18. 電源ボックス
- 19. ACアダプター
- 20. 電磁弁ケーブル

仕様

型 式	EK5030型・EY5030型
電 源	AC電源 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：0.8W 動作時：最大4W
センサー感知距離	【エコセンサー】 約50～100mm 【ON/OFFセンサー】 約20～50mm
検知時間（間隔）	0.5秒以内
自動止水機能	【エコセンサー】 物体を1分間連続感知したとき、自動的に止水 【ON/OFFセンサー】 連続自動吐水してから1分後に、自動的に止水
給水部接続	G1/2

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え
ご検討

日頃のお手入れについてはP24～25、定期的な点検についてはP26をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例 電磁弁・電装部品・サーモカートリッジ・逆止弁・給水ホース

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP28～29を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

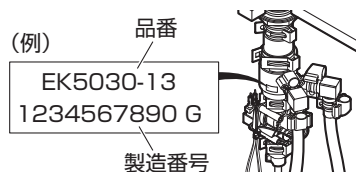
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

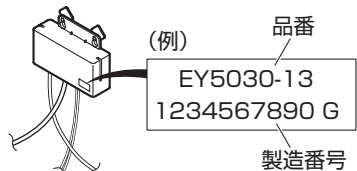
(EK5030型の場合)

品番を確認するには
サーモ胴部に貼付の
シールをご確認ください。



(EY5030型の場合)

品番を確認するには
電源ボックスの右側
下部に貼付のシール
をご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00～17:00(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがあると無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	
	本体	2ヵ年	
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日		販売店
お客様	名前		様 工事店
	住所		
	電話 ()		電話 ()

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
 - ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd